

彦根市の今後の文化行政のあり方に関する請願書

紹介議員

野村博雄

安澤勝

黒澤茂樹

奥野嘉己

1 請願趣旨

感動・響鳴・創造のアンサンブル「ひこね市文化プラザ」は、平成9年開館以来、3つのキーワード「文化」「学習」「交流」を一つにつなぎ、市民の新しい感性と文化の創造・発信拠点として大きな役割を担ってきました。

ところが彦根市は、この「ひこね市文化プラザ」の一部（メッセホール棟）を、学校法人吉田学園が彦根市に開学予定の専門職大学の誘致候補地として調査検討する旨の議案を令和5年度9月定例会に上程し、賛成多数で可決されました。

「ひこね市文化プラザ」を構成するグランドホール、エコーホール、メッセホール他付属施設は、それぞれが複合的に機能することで、一体となって様々な文化活動やコンベンションの開催を可能にし、市内外を問わず多くの利用者の文化活動や生涯学習の機会を支え、「文化のまち彦根」としての彦根市の名声を高めてきました。

この「ひこね市文化プラザ」のメッセホール棟を学校法人が使用されることとなると、従来までの「ひこね市文化プラザ」の一体的利用は不可能となり、全国規模の大規模なコンベンションやコンクールなどのイベント開催地は他府県へと移行され、それに付随する県内イベントも開催そのものが困難となります。既に来年度以降「ひこね市文化プラザ」でのイベント開催を検討している各種団体や大会主催者等からも不安の声が上がっており、このままではこれまで連続と培われてきた彦根市の文化行政の根幹が揺らぎかねないと危惧しています。

今後も「ひこね市文化プラザ」の活用を通して、文化事業をこれまで以上に発展させ、文化都市としての彦根の名声をさらに高めていく事が、我々彦根市民と行政の務めだと思えます。

先人から受け継がれてきた自然・歴史・文化が薫るまち彦根が市外に誇る、市民の文化活動、生涯学習の活動拠点である「ひこね市文化プラザ」が、今後も次世代への文化の継承発展に寄与できるよう、下記のとおり請願します。

2 請願事項

1. 学校法人吉田学園が彦根市に開学する予定の専門職大学への誘致にあたっては、ひこね市文化プラザの従来通りの利用を妨げないよう、他の誘致候補地の選定を進めていただきたい。
2. ひこね市文化プラザの運用を含む今後の彦根市における文化行政のありかた検討にあたっては、財政的視点のみに偏ることなく、青少年の豊かな情操育成、市民による文化活動の継承発展等を踏まえ、展望していただきたい。

2023年11月28日

請願者

住 所 滋賀県彦根市小泉町749番地

氏 名 市民団体「文化のまち彦根」の未来を考える会

代 表 北 沢 真 実



他 彦根市内の署名：1,820名(31名), 市外の署名：3,255名(310名), 計5,075名(341名)

内 () はオンライン署名数

